

○2番（山口 等君）〔登壇〕

（全般モニター使用）皆さんこんにちは。議長より登壇の許可をいただきましたので、ただいまから山口等の一般質問をさせていただきます。

一般質問もきょうで最終日でございます。残り2人ということになりました。皆さん、多少お疲れかもわかりませんが、気合いを入れて頑張っていきたいと思います。よろしくをお願いします。

今回は、5つの項目について質問をさせていただきます。

まず最初に、がん検診の状況について、2つ目に、武雄小校舎改築工事における安全対策について、3つ目に、道路行政について、4つ目に、交流促進のためのパークゴルフ場の開設について、それで、最後に武雄保育所のその後についてでございます。

早速ですが、最初の質問に移らせていただきます。

がん検診の状況についてであります。

今、日本人の2人に1人ががんになり、3人に1の方が何らかのがんで亡くなっているそうです。がんで命を落とさないためには、まず、がん検診を受けることだと思います。そして、早期発見することだと思います。

私もそうでありましたが、どがんもなかとに、ある程度の年になれば、必ずチェックが必要だと思います。確かに、どがんもなかとに病院に行くのは非常に怖いです。そういったことで、今回は私が体験したことをちょっとお話しさせていただきます。

6月に成人病検査を受けました。今回、若木町の公民館で実施されたわけなんですけど、私も何の自覚症状もなく、検診を受けることにしました。その結果、1つの項目である大腸がん検査で再検査という連絡が参りました。何の症状もない私は半信半疑で病院へ行き、大腸カメラの検査を受けました。そうすると、腫瘍が見つかり、病院の先生から大腸がんという診断を下されました。日ごろから私自身は健康体と思い込んでいたので、本当にショックでした。しかし、現実を受けとめないわけにはいきません。手術は先月8月に行いましたが、現在の手術は腹腔鏡の方法で、腹部を切り開かずに手術ができ、体に負担も少なく、2週間程度で帰宅することができました。あと1年そのまま放っていたら大変なことになったということを先生から言われ、本当によかったなと私自身思ったものです。

〔市長「よかった」〕

どがんもなかとに検査を受けるのは本当に勇気が要ります。何じゃい言われるっぎどがんしゅうかにゃと。まず、怖がらずに検査を受けてほしいと思います。結果的に何もなかったら安心できるし、結果がよくないのであれば、早期治療ができ、もとの健康体に戻り、健康寿命も延びるのです。まず時間をつくって、勇気を出して検査をすることをお勧めします。

車の車検や定期点検と同じだと思います。40歳以上になられた方は、ぜひ自分の健康チェックをしてください。

さて、質問に入りますが、武雄市においてもがん検診率向上課を設置されて、はや2年がたちます。市の検診の受診率はどのように推移しているのか、その受診率は近隣の市と比較して武雄市はどのような状態にあるのか、また部位別の死亡率はどのようになっているのか、お尋ねしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

山田くらし部長

○山田くらし部長〔登壇〕

（モニター使用）武雄市のがん検診の受診率につきましては、非常に低い状態であります。平成20年度から23年度につきましては、受診率の低いほうから胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳がんというふうな形になっております。23年度は、胃がんで10.5%、大腸がんで12.2%、肺がんで15.5%、前立腺がんで15.8%、子宮頸がんで23.1%、乳がんで27.4%という数字になっております。

次に、近隣市との比較ということでございますけれども、A市、B市、C市といたしておりますが、なかなかわかりにくいということで、直接各市にお願いしまして公表することをお許しいただいておりますので、各市の名前を言いながらしたいと思いますけれども、武雄市のほうが青い、太い、濃ゆい線でございます。近隣市町と比較して、乳がん以外は同じか下というふうな形になっております。

乳がんの受診率が一番高いのがC市となっておりますが、これは嬉野市でございます。嬉野市は全体的に県内でも高いほうという形になっております。

次に、三角印、緑の部分ですけれども、これはB市ということでしてございますけれども、鹿島市でございます。

A市、赤の表示をしてございますけれども、伊万里市ということで、あと国・県、そういうふうな形で武雄市は非常に低い位置にあるというふうに思っているところです。

次に、がんの部位別の死亡数ですけれども、平成18年から22年までの合計ということでございます。

男女別につくっておりますけれども、男性では肺がん、胃がん、肝がん、その辺が多いという形になっています。一方、女性では大腸がん、肺がん、胃がん、そういうふうな順番での死亡者数という形になっているところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

先月のことでしたけど、8月25日、文化会館で開催されましたがん撲滅推進シンポジウムの講演で東大医学部准教授の中川恵一先生が、がんは治る、そのためには早期発見・早期治療、そして年に一回、時間をとってでもということ力説されました。このような講演会の

開催など、受診率の向上に向けていろんな努力をされると思いますが、今説明があったように、近隣と比較してみると、なかなか受診率が上がっておりません。このような状況を担当部としてはどのように思われているのか、そしてまた、どのような努力をされているのか、お尋ねします。

○議長（杉原豊喜君）

山田くらし部長

○山田くらし部長〔登壇〕

平成22年の9月1日にがん検診率向上課を設置しまして、いろんながん撲滅推進対策に取り組んでいるところでございますが、先ほど示したように、受診率につきましてはなかなか向上していないというふうな現実がございます。

具体的な取り組みといたしましては、市政アドバイザーをお願いしております東京大学医学部附属病院、緩和ケア診療部長の中川恵一先生に就任していただいておりますが、毎年武雄に来ていただいて講演会を実施しておりますし、あわせて、中学生に対しては、がんの秘密を知る学習会ということでお願いをしているところでございます。

また、いろんな検診につきましては、節目検診ということで5歳単位ということでございますけれども、国の補助対象以外の胃がん、肺がん、前立腺がん、こういうふうながんにつきましては、23年度からではございますが、広く無料検診を実施して、受診率を上げるということで実施しておりますし、集団検診に加えまして個別検診ということで病院でも受診ができるように、24年度から改正して体制を整えたところでございます。

また、平成22年度から看護師等が各家庭に訪問しまして、直接市民の皆様へ受診勧奨、広報活動等も行っております。

また、22年には市民の方から御寄附をいただいたところでございますけれども、ことしになりまして、その御寄附を生かすということで電気自動車を購入いたしまして、検診等につきましても広報活動を行っているところでございます。その地域の前日の午後、それから当日の朝のうちに広報いたしまして受診のお願いをしているというところでございます。また、平日だけではなかなか検診が受けられないというふうな人たちのために、土曜日、日曜日、そういう検診日をふやして受診していただくような体制もとっているところでございます。

その一方で、がんについてはいろんな知識も必要ということで、県が養成講座を開催していただいておりますが、その養成講座に参加していただきまして、がん予防推進員という制度がございますけれども、積極的に参加していただきまして、がん予防推進員の委嘱状を交付しているところでございます。現在、県内に325人いらっしゃるわけですが、そのうち91人、28%の方が武雄市内でがん予防推進員をしていただいているということでございまして、市内の食生活改善推進員の方とかがん治療体験者等の方々を含めまして、そういう予防推進員の方にボランティアではございますが、いろんな周知活動をして

いただいております、先日のシンポジウムでも寸劇というふうな部分でございますけれども、出演いただいて御協力をいただいているところでございます。

また、当日参加できなかった方につきましては、録画というふうな形でケーブルワン等をお願いしているところでございます。普通もですけれども、多くの市民に聞いていただきたい講演、シンポジウム等につきましては、事前にケーブルテレビ各社に取材をお願いしております、後ほどということで放映をいただいているところでございます。放映時間につきましては、新聞のテレビ欄等に記載されておりますが、市としてもフェイスブック等でお知らせをしているところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

武雄市としても個人負担を軽減するために助成金制度もあるかと思えますけど、がんの種類別の自己負担、助成金等をお尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

山田くらし部長

○山田くらし部長〔登壇〕

（モニター使用）武雄市のがん検診の内容と自己負担の金額でございますけれども、胃がん検診につきましては900円、肺がん検診につきましては通常200円、たんの検査をされた場合は500円となっております。大腸がん検診につきましては500円、前立腺がん検診につきましては300円、乳がん検診につきましては1,000円、子宮がん検診につきましては600円ということでしておりますけれども、先ほど言いましたように、特定の年齢の方につきましては無料クーポン等を発行して、受診の推進をしているところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

日本人の死亡原因のうち、約3分の1が何らかのがんで亡くなっておられます。何といっても今のところ早期発見・早期治療しかありませんけれども、市長にお尋ねですが、武雄市のがん検診率がどうしても上がりません。そういった中で、がん検診率を見られて市長はどのようにお考えなのか、お尋ねします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

低い上に、なかなか上がらないなというのが実感です。

検診率が高いのは、例えば、長野県なんですね。長野県はどがんしよんさっかというぎ、

今も川良の区長さんがお見えになっていますけど、区長さんが根こそぎ病院に連れていきんさっわけですよ。そいぎ、やっぱり中村区長さんから言われたら私も行かんばとか、あるいは北方の松田区長さんから言われたら私も行かんばとか、そういうふうにやっぱりなるわけですよ。だけど、武雄で、もともとそういう文化がないところで言うぎですよ、今度区長選挙で落ちちゃけんさっかかもしれんわけですね。冗談ですよ。

ですので、一つ考えたのは、食事券。きょうはパークゴルフの美男美女の皆さんたちがお見えになっていますけど、そいぎ、あの人が行きんさっぎんた私も行かんばねと。やっぱり1人で行くとは怖かですもんね。そいばってんが、一蓮托生して行くぎんた、そいぎ、何か行かんぎんた、ちょっとやっぱりどがんかあるねということで、例えば、5人行きんさっぎんた食事券ばプレゼントしようかなと思って。そいけん、1回行くぎんた、2回目、3回目と行きやすかて副市長さんの言いよんさっですもんね。やっぱり1回目に足ば運ぶとがしんどかけんが、そいぎ、あの人も行きんさっ、この人も行きんさっ、良広さんも行きんさっ、陽輔さんも行きんさっ、裕子さんも行きんさっ、そいぎ行きんさっごとなるかなと思って、食事券をちょっと考えてみようと思っています。そいぎ、そいはですね、みんなで市内で食事ばせんばいかんです。市内で食事ばして、行った後に、ああ、最初はえすかったばってんが行ってみるぎんたよかったねとかというふうにして、何かユニットというか、グループで行って、それで打ち上げといったら言葉はおかしかかもしれんばってん、食事の一端については市が食事券ということでサポートして、市内で使っていただければ、それは市内の飲食業の振興にもつながっけん、そういう仕掛けをちょっと考えてみたいなど。これはずうっと2回目、3回目の人とかというのじゃなくて、初めて行きんさっ方、しかも期間限定でちょっと考えてみたいというふうに思っています。

節目節目で受診料の無料というのも大事だと思います。それでもやっぱりなかなか上がりませんもんね。そいけんが、みんなで行けば怖くない。（「怖い」と呼ぶ者あり）怖い方もいらっしやるそうですけれども、なるべくその怖さというとも軽減できるようにしていきたいなというふうに思いますので、この都度、制度設計をして、もう一回、12月議会等でお諮りができればいいなと思っていますので、ぜひ議会からも、いや、これがよかばいと、例えば、食事券よりも入浴券がよかとか、お泊まり券がよかとかいうのがあれば、予算にちょっと限りがありますけど、そこの制度設計をちょっと考えてみたいなというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

食事券のプレゼント、ありがとうございます。（発言する者あり）（「もう決定ばん」と呼ぶ者あり）

〔市長「いやいや、もう行っとんさっけん、この人は」〕

私は行きましたので、はい。がん検診というか、健康な人ほど病院に行かないものです。しかし、40歳以上になったら、必ず自分の体は自分でチェックするという意味でも、ぜひ一度検査を受けてほしいと思います。

そしたら、次の質問に移らせていただきます。

武雄小学校の校舎改築工事における安全対策についてでございます。

現在、武雄小学校において校舎の改築工事が行われております。仮校舎がこのほど完成し、子どもたちはこの新学期からプレハブの仮校舎で学んでおります。この改築整備は、子どもたち、またPTA等から大きな期待が寄せられ、一日も早い完成が望まれております。しかしながら、皆さん御存じのとおり、武雄小学校周辺には工事車両を通すような大きな幅員の道路はなく、子どもたちの通学には大変安全性が損なわれるところであります。

そこで、その対策について、提案を含め質問をしたいと思います。

工事のほうはこれから本格化し、既設校舎の取り壊しがこの9月から始まります。現在の工事車両の運搬経路は、西浦交差点から進入し、小学校に入って荷おろした後は、武雄保育所の横を通り、北側の川良方面へ回る一方通行で運行をされております。その運搬路も道路が狭く、歩道等の整備もされておらず、一般車との離合すらできない家屋密集区域を通るような状況です。

ちょっと写真で現状を説明いたします。これが西浦から入ったところの副島病院さんですかね、その前あたりを工事車両が通行している状況です。それと、山崎鮮魚さんを右折したところの桜町付近の工事車両の通行状況です。このような状況で、ほとんど一般車両が通行できないような状態のところを現在通行しております。

ちょっと図で説明しますと、西浦交差点から入って、副島病院の前を通って、商工会議所の前を通って右折して、小学校の門の下を通り過ぎて、保育所のほうに上がると。そして、武雄小学校に入って荷おろし等をやったら、保育所の横を通って川良方面へ行くという、このルートですね。狭い道路を大体1.5キロ通行している状況です。

これが小学校の東側のグラウンドなんですけど、ほとんどもう一般車両が通るような状態じゃありません。そして、一番狭いところなんですけど、保育所からちょっと川良方面に行ったところなんですけど、ここの道路幅員が3メートルないんです。2メートル70ほどしかないんですけど、この工事車両が約2メートル50ほどありますので、もう10センチほどしか余裕がないということで、ほとんど子どもたちが一緒に安全に渡るといえるか、通行するといえるか、そういうことはできないような状況です。

もちろん、このルートは住民の方等の話し合いを入れて運搬ルートを決定されておるわけなんですけど、武雄小学校の改築工事は体育館の完成まで平成26年度いっぱいかかるという計画になっております。この間の大半が工事期間になるわけなんですけど、周辺住民、通学

生の交通安全や道路の破損等の問題もありますので、そんな中、今のところ交通整理員を14名ほど配置されて運行されております。

ちょっと見えにくいですが、この二重丸が交通誘導員の方なんですけど、小学校に入るところまでに8名、そして校内に1人、そして出たところから5名ということで、円応寺下の交差点のところまででトータル14名の方が今配置されて運行されております。

そこで提案ですが、この1.5キロの狭い市道を通らずに、小学校の上り坂の手前から上がって体育館の横を通って、ここに進入できないか。大体100メートル近くあるんですけど、ここを通っていけば、ガードマンも6名の方で運行できますし、往復でいけば、この1.5キロの狭いところを通ったのが400メートルで済むわけなんです。それで、こういった仮設道路の計画ができないのかどうか、まずお尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

武雄小学校の改築につきましては、議員御指摘のとおり、完成までにはあと2年半ぐらいかかるということで、周辺の住民の皆様、あるいは子どもさん方にも大変迷惑をかけるということになりますので、安全対策につきましては万全を期したいというふうに考えているところであります。

議員御指摘のとおり、西浦から入りまして武雄小学校に行き、それから帰りはそのまま川良のほうに抜けていただくということで、一方方向で通行していただく、それから、朝につきましても登校の時間帯につきましては避けて仕事を始めていただくとか、そういったことを考えているわけです。

さらには、議員からの御指摘もございまして、交通の整理員につきましては各所に14名の方々を配置しながら安全には気を遣っていきたいというふうに思います。

何といたしましても、この地域につきましては道が狭いというのが最大のネックでありまして、その部分は何とかそういう交通整理員を配置するとか、そういったことで交通の安全を、児童の安全を図りながら進めていきたいというふうに考えておるところであります。

先日、議員からこの仮設道路の建設についても話を伺ったわけですが、この道路そのものにつきましては、やっぱり入り口が狭いですので、最終的には必要かなというふうに思っておりますけれども、現時点では体育館が建っております、この道路をつくるということにつきましては非常に困難もあるのではないかとこのように思っております。

それから、予算面で申し上げますと、現在その予算も講じていないということでございますし、そういったもろもろの問題を考えますと、現在のルートでお願いをしたいというふうに考えておるところであります。

最後になりますけれども、その道路をつくりまして、それから川良を通らずに、また西浦

に戻るといことになりますと、おっしゃるとおり、距離は短くなるわけですがけれども、西浦地区につきましてはトラック等が通る回数が倍になるという問題もございますので、確かに川良地区につきましては解消されるわけですがけれども、逆に言えば、西浦地区のほうがそういう支障が倍になるということもございますので、これにつきましては、先日来、地元の皆様方とお話をして決めたわけですので、これをお願いをしたいと、現時点ではそのように考えております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

今、ちょっと私が計画の案を言ったところなんですけど、写真で見たら、桜町の道路から、これはもとの市の図書館ですかね、そこから上がって、体育館の手前の平地なんですけど、これが体育館です。この横を通過して正門のところに行かれないかということです。

この案をもしできたら、数字的なことをちょっと書いてみたんですけど、まず交通誘導員が現在14名が6名になるということで、8名ほど削減できるわけなんです。それで、今から2年半といいますと約30カ月あるんですけど、その約70%の工事が稼働したとして21カ月ほどあります。それが25日の8名で、金額的にいきますと、大体4,200万円ぐらい金額的に浮くんじゃなかるうかと。

それと、舗装補修費の削減が現在1.5キロの運搬距離があるわけなんですけど、これが400メートルに削減されるわけなんです。その補修費の削減が約660万円ぐらいは出てくるんじゃないかなと。

それと、一番の問題が、武雄小学校に現在通学している子どもたちが約350名ぐらいおるんではないでしょうか。そのうちの約70%がああ狭い川良区のほうから、北側のほうから通学しているわけなんです。そこを工事車両が通るとなれば、非常に安全性が損なわれるなどというところなんです。

それと、全体的な1.5キロという運搬距離よりもやっぱり迷惑がかかるかわかりませんが、そこを交通誘導員等で警備されて、影響範囲を集約できるんじゃないかなというふうなところで提案をさせていただきました。

それと、今回の仮設道路が恐らく1,500万円ぐらいかかるんじゃないかなという私の概算です。そういったことを考慮して、まだ2年半ありますので、ぜひ前向きに検討を進めていただくわけにいかんかなというところです。市長、このあたりを含めてどう思われるか、お尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

あっちを立てればこっちは立たず、もう少し時間がありますので、ちょっとやっぱり考えたいと思います。やっぱり子どもたちの安全・安心というのが一番だと思うんですね。それと、こういう仮設道路というのは、なるべく近隣の皆さんの負担をかけないということもあります。ただ、これをやった場合には、やっぱり西浦の皆様、ただでさえあれなんですね、西浦の交差点から副島病院のほうに抜ける道路というのは若干広くなりましたけど、副島病院の先のほうがやっぱり狭いんですね。ですので、そこが何というんですか、この交通量で耐え切れるかと。今でももう渋滞になっていますので、そこから抜けるところが宮野町とか西浦ぐらいしかないわけですね。ちょっとそれを考えたときにどうかなということもありますけど、これは一般質問で議員さんから出た提案なので、これはきちんと教育委員会とよく協議をしながら考えてまいりたいと思います。あっちを立てればこっちは立たず。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

本当この学校の建設工事は、万が一子どもたちに事故等でもあれば大変なことになると思います。本当にこれから2年半、安全管理を尽くしても非常に長いと思います。そういった中で、ぜひ前向きに進めていただくことをお願いして、次の質問に移らせていただきます。

次は、道路行政についてであります。

まず最初に、道路橋の維持管理についてでございますが、この質問は先ほど6番の松尾議員がされましたので、ちょっと重複するところもあるかと思いますが、質問させていただきます。

橋梁のほとんどが高度成長期、昭和40年から昭和50年にかけて建設されております。武雄市内にも139橋の15メートル以上の長大橋があるということで先ほど言われましたが、30年以上たつような橋は実際のどのぐらいあるのか、お尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

御指摘の橋梁の数でございます。現在、武雄市内の市道にかかっている橋は544橋ございます。橋梁というのは一般的に2メートル以上を橋梁というふうな呼び方をしております。

それで、御質問の30年以上の橋ということでございますが、一応私どもが台帳等で持っている資料によりますと、50年以上が24橋ございます。それから、40年から50年の間の橋梁が83橋です。それから、30年から40年が96橋というふうになっております。

なお、架設不明という橋梁がございまして、これにつきましては、恐らく橋梁のスパンが短いというような、ボックス形式等の橋だと思います。これについては架設不明ということになっております。211橋あります。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

その橋梁もきょうの午前中の答弁では何かもう調査は終わったということなんですけれども、橋梁の状態は道路を通行してはなかなかわかるものじゃございません。そういったところで、鋼製の橋梁だと腐食とか亀裂とか緩み等、またコンクリートの橋梁だと、ひび割れ、剥離、鉄筋等のむき出し等が見受けられると思うんですけれども、調査結果の内容でどういったのが多かったか、御報告をお願いします。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

調査結果でございますが、武雄市内の市道橋につきましては、ほとんどがコンクリート橋でございます。したがって、外見等ではなかなか判断しにくいということでございまして、綿密にやっぱり目視で調査した結果でございますが、ほとんどが部分的なひび割れ、あるいは劣化による角部の破損、それから一部アルカリ反応といいますか、塩分反応等がございまして、コンクリートが剥がれて鉄筋が一部出ているというような橋もございました。

そういうことでございまして、ただし、緊急を要するような、緊急的に措置をせにゃいかんというような橋については見当たっておりません。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

緊急を要するような、そういうことは見られなかったということなんですけど、この橋梁の維持管理というのはやっぱり計画的に進めていかないといけないと思います。

そんな中で、道路はあっても橋梁の腐食で通行どめをせざるを得ないという状況になって、また4トン車以上は通行どめとか、そういった交通制限にもなってくるかと思っておりますので、ぜひ長寿命化、修繕計画を早急に策定されて、安全な道路の環境、そして橋梁の耐用年数の延長、計画的な修繕による必要予算の平準化、維持管理コストの縮減等を図っていただいて、橋の老朽化を必ず抑えてほしいと思います。

そして、橋梁には水道管とかNTTとか、そういったものを添架されてあります。それを放っておくと、皆さんのライフラインが閉ざされるということにもなりますので、そのあたり、市長、どうでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

ちょっと一心不乱に質問を聞いておりました。

おっしゃるとおりで、基本的に橋はいろんなライフラインが詰まっているんですね。これについては、先ほど何回か答弁をいたしておりますけれども、長寿命化計画の中で、計画的にその部分ということも入れ込んで、何というんですかね、計画を立ててまいりたいと思っています。そうじゃないと、ちゃんと計画を立てないと、本当の狭義な意味での橋だけのほうになりかねませんので、ライフラインを含めた上での計画をきちんとつくりたいと思っております。

ですので、これは松尾陽輔議員さんのときにお答えしましたけれども、単に古い、危ないということ、これは大事なんですけれども、いわゆるライフラインがきちんと入った橋というの、これも優先順位がやっぱり高くなると思うんですよね。ですので、そういう意味での総合判断を加えた上での計画というのをきちんとやっぱり立ててまいりたい、このように考えております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

ぜひ計画性を持って、早目に進めてほしいと思います。

本当に橋等がなくなれば一般住民に非常に迷惑がかかりますので、よろしくお願いします。そしたら、2つ目の市道における安全・安心対策でございます。

市道平原梅林線、梅林から競輪場の駐車場の横を通過して、観光ホテルの先のほうに出る市道なんですけど、ここに道路を上空占有している建築物がございます。皆さんも気づかれていますかと思うんですけど、この通路といいますか、この道路占有建築物ですね。これが鉄骨製でできておるんですけど、御存じのとおり、結構腐食をして、ちょっと危険性があるような状況に思われます。それで、下のほうに車が見えるんですけど、もし通行している状況の中で、落下等の事故等があれば本当に危険だなと思われるような状況です。これは担当部としても確認はされておると思うんですけど、これは道路占有許可というのが必要だと思うんです。

そういった中で、担当部としてはどのように把握されているのか、そして現在どのようになっているのか、お尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

お尋ねの御船山観光ホテルさんの渡り廊下の件でございます。これは、市道上の上空占有物として占有許可を与えております。

なお、その許可期間でございますが、平成22年から平成27年の3月31日までの5年間とい

うことになっております。

なお、この物件につきましては、この道路を拡張するときには補修したものでございまして、平成3年に改築等をされているというふうに思います。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

今、道路占用許可が平成27年ということでは言われましたけど、次の更新時にこのような状態だともう撤去をお願いしたいというふうなことはできないのでしょうか、お尋ねします。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

この物件につきましては、一部市民の方からも私どもに要望が実は上がっております。平成3年でございまして、鉄骨づくりで、一般的な耐用年数はもう少しあるかと思いますが、外見から見ると非常に危ない、危険な状態に見えます。

そういうことから、使われていないということもございまして、私どもとしては所有者の方ともう少し連絡を密にとりながら、撤去のお願いをしていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

今言われたように、個人の所有でございまして。いろんな問題もあるかと思うんですけども、市道を占用している物件です。道路使用許可のこともありますので、早急に対応してほしいと思います。

そういったことで、通行者の安全・安心のためにも、ぜひこのことを進めてほしいと思うんですが、市長、どのように思われるでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

なかなか質問がいつ飛んでくるかわかんなくなってきた、ちょっと戸惑っておりますけど、やっぱり安全・安心というのが第一で、今先ほど部長から答弁があったように、それは撤去の方向で進めるということですので、それについては我々もしっかり支えていきたいなというふうに思っております。

もしこれをごらんになられている方で欲しい方がいらっしゃれば、ぜひこちらのほうに御連絡をしていただきたいというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

このままの状態だと——ぜひそういった方向で進めてほしいと思います。

そしたら、次の4番目の質問に移らせていただきます。

交流促進のためのパークゴルフ場の開設についてでございます。

さきの3月議会において、現在競技人口がふえつつあるパークゴルフ場を新設し、県内、県外からの誘客により交流促進を図ったらどうかということで提案をさせていただきました。

そして、このほど武雄河川事務所の寛大な御理解により、またきょうたくさんの方がお見えですけれども、市のパークゴルフ協会の会員の皆様方の御協力により、朝日町の高橋自然観察園にパークゴルフ場を開設することができました。これが高橋排水機場の横のパークゴルフ場です。

そして、このほど9月1日に福岡県の浮羽、直方、原鶴のほうから来ていただいて、104名の方の参加による記念大会を開催することができました。この場をおかりしまして河川事務所の方、またパークゴルフ協会の皆様にお礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。

従来の保養村にあるパークゴルフ場は、きのうでしたか、お話が出ていましたけど、イノシシ等の問題で非常に問題がありました。そしてまた、9ホールのコースでありましたが、今回のこのコースは18ホール、しかも延長が700メートル近くのコースがとれて、またイノシシ被害等も全くないといういい環境にあります。

今までは市の会員の方も遠くは熊本県、長崎県、福岡県まで行かれていろんな大会に参加されておりましたが、これからは武雄市においてもいろんな大会の開催が可能になってきます。

それで、宿泊等をされて誘客に結びつけることができると思うんですけど、この誘客に対していろんな優遇制度があるかと思います。武雄市としてどのような制度をとられているのか、お尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

森営業部長

○森営業部長〔登壇〕

宿泊助成制度ですけれども、4つほどありまして、1つに観光客誘致対策助成金としまして、市内で宿泊数が延べ30泊以上の団体及びあっせんした旅行業者に助成。それからコンベンション開催助成金として、主催者、これは事務局も含めますけれども、直接最高50万円まで助成。それから宿泊旅行商品造成助成金、これは武雄市への宿泊ツアーを企画、催行した旅行業者に助成。それから、修学旅行を手配した旅行業者に対する助成ということになって

おります。

研修会やスポーツ大会、同窓会等の宿泊についても助成をされますので、この制度を御利用いただいて武雄温泉にぜひ宿泊していただきたいと思っております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

この助成制度もできてからもう恐らく10年近くなると思うんですけど、現在、宿泊客数が非常に伸び悩んでおる状況です。そんな中で、何か新たな取り組み等を考えておられないのか、そのあたりをお尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

では、伺いたいと思います。どういうのが必要なんでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

よその例ですけれども、宿泊客をふやす手段として、原鶴のホテルなんですけど、1泊2食で6,800円という金額でされておるところがございます。それに昼食をつけて、700円ちょっとで昼食もあると。そういうところもあられるそうですので、参考にされたらどうかと思いますけど、そのあたりはどうでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

それは旅館とかホテルが考える話なんじゃないですかね。よく言われるのは、いや、行政で何とかしてほしいとかいうのがあるんですけど、何ともならないんですね、これが。要は、我々は、例えば、うちが視察で僕らができるのは入れ込み客をふやすというのはできるんですよ。うちももう観光主体だと思っておりますので。そういう意味だと、例えば、平成24年度だと、見込みで言うと、行政視察が165件で恐らく1,200人を超すんですよ。だから、あるホテルはもう増床の計画まであるんですね。我々ができるのはここまでなんです。あと、さらにそれを宿泊につなげるというのは、やっぱりそこは民間のホテルのパワー、旅館の力なんですね。

そこで、先ほど原鶴温泉の話が出ましたけれども、行政が応援しているかどうかというのは、それは我々調べます。調べた上で、私が議員さんに賛成なのは、旅館がそういうプランを出すと。これを行政的に応援するのがいいのかどうかというのは、これはまた議会とよく

相談します。

それともう1つが、我々が今得意なのはPRなんです。武雄市が今フェイスブックに上げると、物すごく人がやっぱりやってくるんですね。あるいは物を買われるんですね。ですので、そのPR効果は十分に今生かしていきたいと思っていますので、ぜひそういう意味で、パークゴルフ協会、きょうはたくさんお見えになっていますけれども、そういう団体の皆さんと我々と旅館、ホテルと連携をしてやっぱり打ち出していく必要があるだろうと思っています。

特にパークゴルフ協会の方々に感謝したいのは、今出ていますけど、これは御自身たちで草刈りをされているんですね。これは非常に感謝しています。それと、やっぱり河川事務所の村瀬さんですね。被災地にボランティアで行かれましたけど、村瀬さんがいなかったらこれは多分許可が出ていないんですよ。普通の所長さんだったら——あの人が異常だとは言いませんよ。普通のその辺の官僚の人だったらね、もうだめ。だから、やっぱり村瀬さんなんです。やっぱり人の力なんです。それと、やっぱり等議員さんを初めとして、パークゴルフ協会の皆さんたちが熱心にしたいと、自分たちでやるという熱意がやっぱり国交省を動かしたと思いますので、非常に幸せなスタート、ここに行政、旅館、ホテルがさらに乗っかっていってそれを伸ばしていくという段階に来ているというのは、認識は全く同じであります。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

このパークゴルフという競技も、きょうはたくさんお見えですけど、高齢化社会になった今、非常に競技人口もふえております。現在、市の会員の方も100名以上ということで聞いております。これを契機に大会等を誘致して宿泊等をふやしていきたいという、経済効果も含めて貢献できるものと考えております。

今回使用させていただく河川事務所の高橋自然観察園なんですけど、これはあくまでも国の所有でございますので、暫定的に認めていただいているんじゃないかなということを思っております。将来的には武雄市としても専用の公認コースをぜひ完備して、いろんな幅広い誘客にもつなげて、市民の福祉の維持向上に、そしてまた経済対策に努めてほしいと思いますけど、現在進んでおります新幹線の残土の処分地、東川登地区にそういった施設が完備できないか、そのあたりのところを市長、どうお考えなのか、お尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これは土砂の搬入まで含めると四、五年ぐらいはかかりますけど、非常にいい案だと思っ

ていますので、ゆっくり検討しながら進めていければいいなと思っています。まずは、この高橋でやっぱり盛り上がって行って、さらに市民から、いや、もっと広かところが必要よねというようなお声も寄せていただければいいなというふうに思っております。当然のことながら、四、五年後の話ですので、今、東川登はまだ全然その計画も立っていませんので、そこも候補地の一つとして考えられるんじゃないかなということは思っております。

いずれにしても、市内でさらにちゃんとした——ここもちゃんとしていますけど、さらにこれとは別に、しっかりとしたパークゴルフの交流の場ができればいいなと、私自身もそのように思っております。こがんいっぱい来とんさつき、やっぱりそう言いたくなりますね。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

本当にありがたい言葉でした。

昨日、黒岩議員からもお話がありましたけど、健康づくりは医療費削減につながるということを力説されました。本当にきょうはたくさんの方がお見えですけど、皆さん本当に若いんです。きょうは何点やったとか、今度は頑張ろうと、そういう気持ちで毎日を過ごされておりますので、健康寿命が非常に延びてくると思います。こういった中で、ぜひ新しい公認コースの建設も進めて行ってほしいと思います。

そしたら、最後の質問に移らせていただきます。

きょう上野議員からもちよとお話が出ましたけど、武雄保育所のその後についてでございます。このことは、さきの12月の市長答弁にもありましたが、民営化を含めて抜本的に見直していきたいということを言われておりました。その後の進捗状況について、改めて市長にお尋ねいたします。

○議長（杉原豊喜君）

蒲原こども部長

○蒲原こども部長〔登壇〕

12月議会に市長のほうから抜本的な見直しをするということであっておりました。その後、きょう上野議員さんの質問でもございましたけれども、今、計画の見直しをしているところなんですけれども、その計画案の概要といたしましては、武雄保育所の民営化、そしてこれは時期的には平成27年度以降になるんじゃないかというふうに思いますけれども、民営化後の移転新築、そして休日保育所、また一時保育所などの特別保育については、さらに充実をしたいと。また、病後時保育についても充実をしていきたいというようなことを考えております。

今後は、議会等の御意見をちょうだいする機会を設けながら、早急に計画案を策定して実

施をしていくようにしていきたいと思っております。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

ちょっと部長答弁に補足をいたします。

上野議員さんにお答えしたとおり、この方針については年内に議会並びに市民の方々にお知らせ申し上げますけれども、その前に議会終了後の全員協議会で原案を議会にお示しをしたいと思っております。そのときにもまた御意見等を賜ればありがたいと思っておりますが、27年度以降に移転新築の前に、今のところ24年度に民間事業者の公募を行いたいと思っております。24年度に民間事業者の公募。25年度に民間事業者の決定。26年度に民間事業者による武雄保育所の運営開始をして、27年度に新園舎の新しい建物の開設と、これはここで部長答弁につながるんですけども、そういうプロセスを踏んでいきたいと思っております。

これについても、いずれにしてもまた議会の御判断を賜りたいと思っておりますので、またお聞かせ願えればありがたいと、このように思っております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

24年度中に民間事業者の公募ということまで言っていただきました。現在の保育所は築48年ということで老朽化が進んでおります。そしてまた、先ほどの写真にもありましたけど、交通アクセス等が非常に問題です。そういった中で、これも23年12月に質問したときだと思うんですけど、1.5キロ以内というようなことも言われておりました。このあたりを今どのようにお考えなのか、再度お伺いいたします。

○議長（杉原豊喜君）

蒲原こども部長

○蒲原こども部長〔登壇〕

今現在の保育所は小学校と隣接しておりまして、先ほど出ておりましたように、進入路が狭くて本当に危険で、保護者の皆様には御不便をおかけしていると思っております。

園舎の移転先ということにつきましては、23年12月議会でも市長が申しあげましたように、1.5キロ、また武雄小学校区内、現園舎にできるだけ近いところにそういう確保ができればいいなというふうに考えております。

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

ちょっと先ほど言われた答弁の繰り返しをやってほしいんですけど、スケジュールについ

でもう一度よろしいでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

すみません、これは表を用意すればよかったですね。ちょっともう申しわけございません、あごで勘弁をしてください。

まず、年内に方針を出します。その上で、来年の4月以降に民間事業者の公募をします。再来年の25年度に民間事業者を決定します。26年度に民間事業者による今の武雄保育所の運営を開始。それで、27年度に新園舎の開設という運びになってまいります。違う。（発言する者あり）（「1年遅か」と呼ぶ者あり）何かおかしかったね。ちょっと立ち往生しました。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

2番山口等議員

○2番（山口 等君）〔登壇〕

24年度中に公募をかけるということだったのですかね。

〔市長「はい」〕

ありがとうございます。

現在、この武雄保育所も、先ほど言いましたけど、武雄小学校と同じで、川良区方面から通園している子どもが非常に多いです。また、今後もふえることが予想されます。ぜひ我々地元としても、現有地に近いところで、交通アクセス等、そういった問題等を解消したところで、地元としてもぜひ地域ぐるみで、きょうは区長さんがお見えですけど、ぜひ協力をしていきたいなと思っております。

その中で、これからも武雄市の保育サービスがより一層充実したものになることをお願いいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（杉原豊喜君）

以上で2番山口等議員の質問を終了させていただきます。